

教科名	対象学年	使用した資料（参考にした資料）	TYPE
国語	小学6年	授業アイデア集【小学校版】p17・【中学校版】p7	Ⅲ

授業内容 立場と意図をはっきりさせながら、パネルディスカッションをしよう。

身に付けたい力

- ・自分の考えを根拠立てて聞き手に説明する力。
- ・立場や役割を明確にして、質問したり、話したりする力。

教科名	対象学年	学校名	課題の見られた問題	TYPE
国語	6年	上里町立長幡小学校	26年度 全国 B1 I	
授業の内容	立場と意図をはっきりさせながら、パネルディスカッションをしよう。			
身に付けたい力	立場を明確にして、話し手の意図をとらえながら質問したり、根拠をはっきりさせて話したりすることができる。			

立場と意図をはっきりさせ、根拠や理由を明らかにして話し合う。

【指導のポイント】根拠や理由をはっきりさせて話す。

全体テーマ『地球の自然を残していくために私たちは何をしたらよいか』に対する各自の考えをもとに同じ興味をもっている人達でグループを作り情報カードを作成する。

グループの考え（森林を守る）

A 森林はまず木が酸素を出し、二酸化炭素を吸収してくれるはたらきがあること、私達のまわりの空気は30億年かけて作り出されたことなどがインターネットで調べてわかった。

このことから自分達ができることは、身近な木を大切に、〇〇小でも取り組んだ緑のカーテンで緑を増やすことだと思ふ。

C 森林は地面に根を張ることによって、土砂崩れなどの災害を防ぐ働きをしてくれることがわかった。

自分達にできることは木を大切さを友達に知らせ、身の回りにある木々を枯れさせないように世話をする。

興味を持っている人達で作ったグループでまとめた情報カード

B 人の開発のために、ここ10年の間に毎年5万㎡の木が切り倒されていることが調べてわかった。

自分達にできることは、開発のために身近な自然を破壊しないよう呼びかけるとともに、私達の地にもある久保のコスモスや梨畑などを大切にしておくことだと思ふ。

D インターネットから調べたことによると日本は、家や家具それ以外に割り箸250億膳、段ボールや紙製品は年間3千万トンも作られていて、世界の中でもたくさん木を使う国として知られている事がわかった。

自分達にできることは木でできたものや割り箸、紙などを無駄にしないようにすることだと思ふ。特に割り箸の使用はマイ箸を使うことですぐに減らすための活動ができると思ふ。

【情報カードを作成させる時の指導のポイント】
テーマに対する自分の考えの根拠や理由を明確にするために、それぞれ異なる森林の働きを調べさせることにより、グループとして作成する立論カードを説得力のあるものに仕上げられるようにする。


A 緑をふやす立場から
B 森林の現状から自分の住む地域を見つめる立場から
C 森林が災害を防ぐ働きがあることによりできることを考える立場から
D 森林の使用をどう減らすかの立場から

その結果左のA、B、C、Dのような根拠をはっきりさせた意見を各自が持てるように導く。

教科名	対象学年	学校名	課題の見られた問題	TYPE
国語	2年	秩父市立影森中学校	27年度 全国 Ⅱ2 Ⅲ3	Ⅲ
授業の内容	三角ロジックを使って、説得力のある意見文を書こう。			
身に付けたい力	説得力のある意見文を書く力。			

【事例】三角ロジックを使って、説得力のある意見文を書こう。（全4時間）

- 意見文についての確認
 - ①「意見文」とはどのようなものか説明する。
 - ②双括型、頭括型、尾括型など、作文における型の種類を説明する。
- 意見文を書くための土台づくり
 - ①「意見文」のテーマを決め、自分の立場を考える。
 - ②意見を支える根拠（自分の体験等）を、ワークシートにまとめる。
- 構成メモ作成
 - ①教師が三角ロジックについての説明を行う。
→三角ロジックを使うことによって双括型の文章のイメージをつかめるようにする。
 - ②自分の意見に沿って、三角ロジックに「意見」「事例」「解釈」を記入する。
→事例、解釈はそれぞれ2つか3つ。それ以上は書かない。
 - ③三角ロジックに記入した内容を構成メモにあてはめ、作文の形にする。
→接続語を使い、文と文のつながりが途切れないように。
- 清書&意見文発表会
 - ①前時に考えた構成を元に原稿用紙に意見文を書く。
→構成メモに内容を加え、説得力のある意見文にする。
 - ②意見文を3人組で交換して読み合い、観点に従って評価する。
→良かったところと一言アドバイスを必ず一つずつ書く。
 - ③評価を受けて、今後に生かしていきたいところを記入する。
→今後、意見文を書く機会には、何に気をつけて書きたいのか考えをまとめる。
 - ④代表者を決め、全体発表会を行う。
→代表者の発表を聞いて自分の意見文と比較する。今後の参考にする。



立場と意図をはっきりさせ、根拠や理由を明らかにして話し合う。（全10時間）

全体テーマ『両神中学校跡地の有効な活用とは？』

【三角ロジックの活用】

・「三角ロジック」の型に当てはめて自分の考えを整理し、同じ興味をもつ人と観点別グループをつくり、考えを集約してグループとしての考えをまとめる。

商業施設グループ

買い物をするとき遠くて不便なので、スーパーマーケットを建てれば近場で買い物できて、地域の人でも高齢者も助かると思う。

行楽・レジャー施設グループ

小鹿野町の魅力が知られていない現状がある。このことから、宿泊施設を建てれば観光客も増え、小鹿野町の活性化が図れると思う。

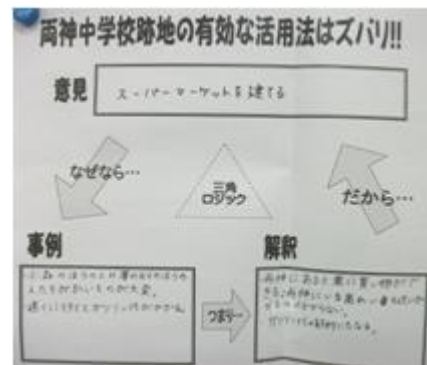
病院・福祉施設グループ

小鹿野町の人口を見ると、60歳以上が約40%と多く、病院通いや生活の補助を必要としている人も多くいると思う。入院もできる総合病院があるとよい。

- ・作成した資料の精選、構成の仕方、伝え方についてグループで話し合い、「三角ロジック」をもとに、説得力のある説明ができるようにする。



私たちのグループでは、スーパーマーケットを建てることを考えました。なぜなら、奥に住んでいる人たちは買い物が大変で、市内に出るまでにガソリン代もかかるからです。つまり、両神にスーパーがあれば、高齢者も含め買い物がしやすくなり、ガソリン代の節約にもなると考えました。



【授業のポイント】

- 自分の考えを整理させることで、根拠や理由を明らかにする。
- 同じ型で意見構成をさせることで、グループの意見をまとめやすくする。
- 文章にする際には適切な接続語を使い、根拠立てた説明をする。
- 意見から予想される質問の答えについて話し合う時間を十分に確保し、グループとしての考えを深める。

【タブレットを活用した資料提示の工夫】

- ・パネリストがタブレットを使って資料を提示し、根拠となる部分や聞き手に伝えたい部分について、拡大する等タブレットを操作しながら意見を述べる。



このグラフを見てください。インターネットで調べたところ、生活の中で不自由を感じている高齢者が多いことがわかりました。また、高齢者の一人暮らしによる孤独死も多いそうです。そこで、私たちのグループでは、高齢者の生活を見守るために、老人ホームを増やして生活の手助けをしてあげられたらとよいのではないかと考えました。



【授業のポイント】

- タブレットを活用しながら資料を提示し、資料をもとに説明することで、聞き手により明確に考えを伝えさせる。
- 視覚的理解（グラフ等）により、話し手の意図をより受け取りやすくする。

【役割別話型シートを活用した意見発表の手立て】

- ・役割ごとの話型シートを活用し、立場を明確にした発言や質問につなげる。

パネリスト、フロア、司会の役割ごとに話型シートを用意！



パネルディスカッションの様子

【授業のポイント】

- 話型を活用することで、話すことが苦手な児童も意見を述べやすくする。
- 役割別話型シートにより、自分の立場や話を聞く視点を明確に、話し手の意図を踏まえた質問や話し合い活動を進める中で、自分の考えも深めていく。